

2021年12月27日

各 位

## 富山工場における小火発生について（第2報）

2021年12月9日午前11時30分頃、化学品等の製造を行う当社富山工場（富山県富山市婦中町笹倉635）において、小火が発生しました。近隣住民の皆様ならびに関係者の皆様には多大なご迷惑、ご心配をお掛けし、深くお詫び申し上げます。

12月16日に消防当局への報告を行いましたので、本件に関する状況をご報告申し上げます。

（ご参考：2021年12月10日発表 第1報リリース

[https://www.nissanchem.co.jp/news\\_release/news/n2021\\_12\\_10\\_02.pdf](https://www.nissanchem.co.jp/news_release/news/n2021_12_10_02.pdf)）

### 記

#### 1. 発生日時・場所

12月9日（木）11時30分頃、当社富山工場内メラミンプラント

#### 2. 発火時の対応

メラミンの製造に用いられる熱媒（硝酸塩と亜硝酸塩の混合物、約400℃）がバルブ（口径150mm、ステンレス製）の軸封部より漏洩し、その熱媒に接触した保温材が発火しました。すぐに従業員が消火器で消し止め、同日11時40分頃鎮火しました。

#### 3. 被害状況

人的被害：なし

物的被害：なし

#### 4. 環境影響

なし

#### 5. 近隣影響

なし

#### 6. 原因

##### ①漏洩箇所のバルブ軸封部のパッキン材質不良

当該バルブは、耐熱温度が熱媒温度より低い不適切な材質のパッキンを誤って使用したため、パッキンが劣化し漏洩に至りました。整備作業への適正な指示と、整備記録の確認ができておりませんでした。

②保温外装材の選定不良

発火温度の低い保温外装材を使用したため、バルブより漏洩した高温の熱媒が付着した際に発火したと推定しています。

7. 対策

①バルブの整備に際し、整備作業員への適正パッキンの使用指示や整備記録を残す等、管理強化を図ります。

②熱媒の漏洩が懸念される箇所については、耐熱性のある代替材に変更、または耐熱の養生を行い、発火を防止します。

8. 生産影響

なし

9. 今後の対応

再発防止のため、事故調査結果を踏まえ、対策を徹底して実行してまいります。

以 上

本件に関するお問い合わせ先
日産化学株式会社 経営企画部 CSR・広報室 (東京都中央区日本橋 2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング) TEL:03-4463-8123 E-mail : csr_pr@nissanchem.co.jp